



2022年2月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（非連結）

2022年1月12日

上場会社名 バリオセキュア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4494 URL <https://www.variosecure.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲見 吉彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長 (氏名) 磯江 英子 TEL 03 (5577) 3284
 四半期報告書提出予定日 2022年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第3四半期の業績 (2021年3月1日～2021年11月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第3四半期	1,923	0.8	555	△7.2	516	△7.0	357	△7.2	357	△7.2
2021年2月期第3四半期	1,907	1.5	598	△3.1	556	△2.1	385	△2.0	385	△2.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第3四半期	94.69	90.81
2021年2月期第3四半期	103.52	97.07

(2) 財政状態

	資産合計	資本合計	資本合計比率
	百万円	百万円	%
2022年2月期第3四半期	7,011	4,175	59.6
2021年2月期	7,216	3,949	54.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期	—	0.00	—	39.44	39.44
2022年2月期	—	0.00	—		
2022年2月期 (予想)				40.44	40.44

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年2月期の業績予想 (2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,649	4.1	782	2.4	732	3.4	507	3.3	134.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年2月期3Q	3,791,013株	2021年2月期	3,766,620株
② 期末自己株式数	2022年2月期3Q	29株	2021年2月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年2月期3Q	3,779,997株	2021年2月期3Q	3,726,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	1
(3) キャッシュ・フローの分析	2
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期財政状態計算書	3
(2) 要約四半期損益計算書及び要約四半期包括利益計算書	5
(3) 要約四半期持分変動計算書	7
(4) 要約四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 要約四半期財務諸表に関する注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けたワクチンの接種拡大により経済社会活動が正常化に向かう中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待されるものの、新たに変異株の存在が確認されたこともあり、先行きが不透明な状況が続いております。

当社を取り巻くセキュリティサービス市場の環境としては、多様化するサイバー攻撃、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として普及するテレワーク環境を狙う攻撃により、企業におけるセキュリティ対策に向けた投資需要が引き続き拡大しております。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークの増加などから、企業のシステム・ネットワークの環境が大きく変化する中で、自社での運用・管理が困難である企業がセキュリティベンダーへ運用や監視をアウトソーシングする傾向にある中、市場全体としても堅調に拡大しているものと認識しております。

そのような環境下、当社は従来のゲートウェイセキュリティに加え、エンドポイントセキュリティ対策としてサイバー攻撃の兆候を検知するVarioマネージドEDR、増加するランサムウェア被害（身代金要求型ウイルス）から企業の情報資産を守るデータバックアップサービス（VDaP）の拡販を行い、増大する脅威に対して多層防御により安心、安全なビジネス環境の構築を支援して参りました。

また、当社では、部材の調達に関連して、世界的な半導体供給不足の影響を受ける可能性があります。現時点において、当期における影響については軽微であるものと見込んでいるものの、来期以降の業績に与える影響については、合理的に算定することは困難であり、引き続き状況を注視して参ります。

以上の結果、当社においては、インテグレーションサービスにおいて、緊急事態宣言長期化の影響を受けたものの、マネージドセキュリティサービスによるストック型の収益と、その低解約率（0.78%）（注）により、売上は前年同期比を上回り安定的に推移いたしました。各段階利益につきましては、売上収益増加に伴う売上原価の増加、セキュリティオペレーションセンターの構築費用、将来の成長に向けた投資として営業部門及び管理部門強化に係る採用などにより、前年同期比で減益となっております。

この結果、IFRSに準拠した当第3四半期累計期間の業績は、売上収益1,923,815千円（前年同期比0.8%増）、営業利益555,400千円（同7.2%減）、税引前四半期利益516,870千円（同7.0%減）、四半期利益357,917千円（同7.2%減）となりました。

なお、当社は、インターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

（注）解約率（金額ベース）＝当第3四半期累計期間解約金額÷（各年度の期初ベース月次売上収益×9）

(2) 財政状態に関する説明

IFRSに準拠した当第3四半期会計期間末における財政状態の状況は以下のとおりであります。

（資産）

当第3四半期会計期間末における資産合計は、7,011,662千円となり、前事業年度末に比べ204,503千円減少しました。これは主に、その他の流動資産が62,951千円増加し、現金及び現金同等物が268,072千円減少したことによります。

（負債）

当第3四半期会計期間末における負債合計は、2,835,939千円となり、前事業年度末に比べ430,859千円減少しました。これは主に、流動負債の借入金が1,509,801千円増加し、非流動負債のリース負債が55,362千円及び非流動負債の借入金が1,786,677千円減少したことによります。

（資本）

当第3四半期会計期間末における資本合計は、4,175,723千円となり、前事業年度末に比べ226,356千円増加しました。これは主に、四半期利益の計上により利益剰余金が357,917千円増加し、配当金148,555千円により利益剰余金が減少したことによります。

（3）キャッシュ・フローの分析

IFRSに準拠した当第3四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当第3四半期累計期間における資金は、前事業年度末に比べ268,072千円減少し、当第3四半期会計期間末には325,858千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、279,557千円（前年同期は260,969千円の収入）となりました。主な増加は、税引前四半期利益516,870千円、減価償却費及び償却費93,914千円、主な減少は、棚卸資産の増加額40,345千円、その他の流動資産の増加額62,951千円、法人所得税の支払額221,893千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、75,290千円（前年同期は84,749千円の使用）となりました。主な減少は、無形資産の取得による支出65,995千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は、472,210千円（前年同期は352,849千円の使用）となりました。主な減少は、長期借入金の返済による支出300,000千円、配当金の支払による支出148,013千円、リース負債の返済による支出33,937千円によるものであります。

（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症による当社の業績への影響は軽微であります。従いまして、2022年2月期の業績予想については2021年4月12日に公表した業績予想を据え置き、今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 要約四半期財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期財政状態計算書

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	593,930	325,858
営業債権及びその他の債権	461,320	457,224
棚卸資産	119,743	160,088
その他の流動資産	144,196	207,147
流動資産合計	1,319,190	1,150,319
非流動資産		
有形固定資産	293,232	228,051
のれん	5,054,613	5,054,613
無形資産	173,412	223,270
その他の金融資産	63,384	63,384
繰延税金資産	139,881	122,185
その他の非流動資産	172,450	169,837
非流動資産合計	5,896,974	5,861,343
資産合計	7,216,165	7,011,662

	前事業年度 (2021年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2021年11月30日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	369,763	1,879,564
営業債務及びその他の債務	108,005	126,201
未払法人所得税等	120,432	37,518
その他の流動負債	394,476	379,819
流動負債合計	992,678	2,423,104
非流動負債		
借入金	1,786,677	-
リース負債	102,725	47,362
引当金	18,336	18,372
その他の非流動負債	366,380	347,098
非流動負債合計	2,274,119	412,834
負債合計	3,266,798	2,835,939
資本		
資本金	320,072	327,840
資本剰余金	1,629,850	1,639,125
利益剰余金	1,999,444	2,208,806
自己株式	-	△49
資本合計	3,949,366	4,175,723
負債及び資本合計	7,216,165	7,011,662

(2) 要約四半期損益計算書及び要約四半期包括利益計算書

要約四半期損益計算書

第3四半期累計期間

	前第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
	千円	千円
売上収益	1,907,646	1,923,815
売上原価	714,552	727,100
売上総利益	1,193,094	1,196,715
販売費及び一般管理費	594,452	641,207
その他の収益	99	87
その他の費用	-	194
営業利益	598,742	555,400
金融収益	147	2
金融費用	42,826	38,533
税引前四半期利益	556,062	516,870
法人所得税費用	170,280	158,952
四半期利益	385,782	357,917
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	103.52	94.69
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	97.07	90.81

要約四半期包括利益計算書
第3四半期累計期間

	前第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
	千円	千円
四半期利益	385,782	357,917
その他の包括利益	-	-
四半期包括利益	385,782	357,917

(3) 要約四半期持分変動計算書

前第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
2020年3月1日時点の残高	310,000	1,590,985	1,507,909	-	3,408,894
四半期利益	-	-	385,782	-	385,782
その他の包括利益	-	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	385,782	-	385,782
株式に基づく報酬取引	-	8,895	-	-	8,895
所有者との取引額合計	-	8,895	-	-	8,895
2020年11月30日時点の残高	310,000	1,599,880	1,893,691	-	3,803,571

当第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円
2021年3月1日時点の残高	320,072	1,629,850	1,999,444	-	3,949,366
四半期利益	-	-	357,917	-	357,917
その他の包括利益	-	-	-	-	-
四半期包括利益合計	-	-	357,917	-	357,917
自己株式の取得	-	-	-	△49	△49
配当金	-	-	△148,555	-	△148,555
新株予約権の行使	5,270	5,270	-	-	10,540
株式に基づく報酬取引	2,498	4,005	-	-	6,503
所有者との取引額合計	7,768	9,275	△148,555	△49	△131,561
2021年11月30日時点の残高	327,840	1,639,125	2,208,806	△49	4,175,723

(4) 要約四半期キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年11月30日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	556,062	516,870
減価償却費及び償却費	87,547	93,914
金融収益	△147	△2
金融費用	42,826	38,533
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△15,440	△40,345
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△33,364	4,095
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△25,962	△62,951
その他の非流動資産の増減額 (△は増加)	3,666	2,613
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△5,227	14,894
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△51,649	△36,970
その他の非流動負債の増減額 (△は減少)	11,772	△19,282
その他	1,562	2,662
小計	571,645	514,032
利息の受取額	2	2
利息の支払額	△14,633	△12,582
法人所得税の支払額	△296,045	△221,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,969	279,557
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,962	△9,295
無形資産の取得による支出	△73,787	△65,995
投資活動によるキャッシュ・フロー	△84,749	△75,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による収入	-	10,540
長期借入金の返済による支出	△300,000	△300,000
リース負債の返済による支出	△52,099	△33,937
自己株式の取得による支出	-	△49
配当金の支払額	-	△148,013
その他	△750	△750
財務活動によるキャッシュ・フロー	△352,849	△472,210
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△176,629	△267,943
現金及び現金同等物の期首残高	632,229	593,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	△69	△129
現金及び現金同等物の四半期末残高	455,530	325,858

（5）要約四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社はインターネットセキュリティサービス事業の単一セグメントであるため記載を省略しております。